

少しだけ高くなった空を見上げると、うろこ雲・いわし雲・さば雲が見られようになりました。『秋高し（あきたかし）』は秋の季語で大気が澄んで見通しが良くなる様子を表します。秋という季節全体への賛美も含まれると解釈されます。図書館の窓から、夏の空との違いを感じてみませんか？

## 月夜に読んでほしい本特集

今年の9月8日の皆既月食は、日本国内では約3年ぶりでした。未明に赤く染まっていく神秘的な満月を観測することはできましたか？皆既月食は、太陽・地球・月が一直線に並び、月が地球の影に完全に包まれる現象です。皆既月食には、浄化やリセット・不要な感情や執着を手放すなどのいわれもあるそうです。月夜になると思い出すような、月にまつわる本をご紹介します。ぜひ読んでみてください。

### ふたつめの月 近藤史恵著



解雇をいわたされた契約社員の久里子。入社するふりをしは日中ぶらぶらと暇をつぶす毎日を送っています。いくつかの事件に巻き込まれ、謎の老人や犬たちとの出会いによって成長していく久里子の様子が頼もしい、読後感あたたかなミステリー。

### 星に願いを、月に祈りを 中村航著



小学生の3人は、偶然ラジオから流れる謎の深夜放送を耳にしたことから物語が始まります。ひとつのラジオで繋がる連作短編です。どこから流れてくるのか、分からない謎のラジオ。正体が分かった瞬間に、曖昧だった話が一気に繋がります。

### 月と六ペンス サマセットモーム著



あるパーティで出会った男、ストリックランド。ロンドンで、何不自由ない暮らしを送っていた彼がある日、行方をくらませたという。パリで再会した彼の口から真相を聞いたとき、私は耳を疑った。四十をすぎた男が、すべてを捨てて挑んだこととは？

### 月の上の観覧車 荻原浩著



閉園後の遊園地で観覧車に乗り込んだ男は月に向かってゆっくりと夜空を上昇していく。ゴンドラが頂に到った時、男が目にしたものは？心に溜まっている「あの時、こうしていれば」という想いが少しでも軽くなるような物語です。

### 赤い月の香り 千早茜著



カフェでアルバイトをしていた満。客の朔に、自身が暮らす洋館で働かないかと勧誘されます。朔は人並外れた嗅覚を持つ調香師で、その洋館では依頼人の望む香りをオーダーメイドで作出す仕事をしていました。香りを文学へと昇華させた長編作品です。

### 月の恋人 道尾秀介著



ひとり旅に出た弥生、上海で高級家具を扱うレゴリスの若き経営者葉月蓮介、蓮介の会社のCM出演オファーを蹴ったシュウメイ。順風満帆とは言えない3人の人間模様が交錯する恋愛小説です。

## ばけばけ

『ばけばけ』は、NHK「連続テレビ小説」として、9月29日から放送されます。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）とその妻・小泉セツをモデルとしています。八雲は明治時代の作家で日本に古くから伝わる口承の説話を記録・翻訳し、海外に広めたことで評価されています。岩波ジュニア文庫では、その生涯と作品について詳しくわかりやすく書かれています。

### ラフカディオ・ハーン: 日本のこころを描く 河島弘美著

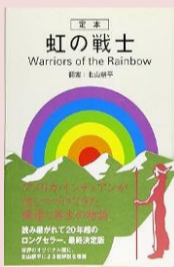


小泉八雲ことラフカディオ・ハーンはギリシアに生まれ、アメリカを経由して日本にやってきました。14年間の日本滞在中で松江や熊本、東京などへ移り住みながら、有名な『怪談』のほか、紀行文や日本文化論にも数多くの傑作を残しています。変わりゆく風物や人びとの心を深く見つめ、多大な共感を寄せたその生涯をたどります。

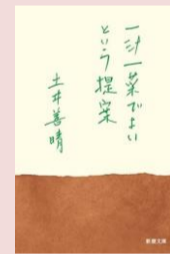
## 夏休み中のお客様より

浜松市の移住コーディネーターとして、長年ご活躍されている井上紗由美さんが、図書館の見学にいらっしゃいました。引佐町を中心に発信される『山の新聞』の発行なども手掛け、都心からのUターン経験者ならではの視点で浜松市の発展に貢献している井上さんのお勧めの本をご紹介します。

### 虹の戦士 北山耕平著 William Willoya著 一汁一菜でよいという提案 土井善晴著



この物語にはアメリカ・インディアンが信じつづけてきた、地球と人間への教えが綴られています。1991年に北山耕平さんによって訳され30年以上ベストセラーとして読まれてきた一冊です。



「日常の食事は、ご飯と具だくさんの味噌汁で充分。無理のない生活のリズムを作り、心身ともに健康であるために、料理研究家・土井善晴による根源的かつ画期的な提言と、日本人の心について考察をまとめられています。



井上さんが中心となって浜松市移住センターから発行された「Hama Life」や、浜名区に関する本、井上さんのお勧め本などがコーナー展示されています。地域の魅力を再確認できるコーナーです！

## 最新メディアミックス

この秋、公開される最新の映像作品の原作本が図書館に多数あります。どんな作品なのか、ぜひ小説でも読んでみてください。



### 秒速5センチメートル 新海誠著

東京の小学校で出会い、心の距離を近づけていく二人、明里と貴樹。明里が引っ越してしまっても文通を続け、中学1年の冬に栃木・岩舟で再会します。「桜の花びらの落ちるスピードは、秒速5センチメートル」いつも大切なことを教えてくれた明里、彼女を守ろうとした貴樹。孤独な二人の喪失と再生をテーマにした物語です。



### ザ・ロイヤルファミリー 早見和真著

父を亡くし、空虚な心を持って余した税理士の栗須栄治はピギナーズラックで当てた馬券を縁に、人材派遣会社「ロイヤルヒューマン」のワンマン社長・山王耕造の秘書として働くこととなります。競馬に熱中し、〈ロイヤル〉の名を冠した馬の勝利を求める山王と共に有馬記念を目指し…。馬主とその家族の20年間を描く圧巻のエンターテインメント長編です。



### 火喰う鳥を、喰らう 原浩著

信州で暮らす久喜雄司は、代々の墓石が何者かによって破壊され、死者の日記が送られてきます。その日を境に、久喜家の周辺では不可解な出来事が起こり始め、日記には、誰も書いた覚えのない「ヒクイドリヲクウビミナリ」という文章が出現します。第40回横溝正史ミステリー&ホラー大賞を受賞した作です。



### 君の顔では泣けない 君嶋彼方著

高校1年生の坂平陸は、ある日突然クラスメイトの水村まなみと体が入り替わってしまいます。まなみの家族との距離感、今まで話したこともなかったまなみの友達との会話、部活の顧問からのセクハラ……入れ替わった後の15年を圧倒的なリアリティで描く、第12回小説野性時代新人賞受賞作です。